

ネガティブストーリー ファミリー編

5年前、
郊外の駅から離れた
緑豊かな戸建の住宅を
購入した

家族みんなが
自然が好きなのと
子どもの将来を考えると

仕事を優先した
住宅の購入は考
られなかつた

バス路線もなく
通勤は大変だけど

オフィスのある
東京へは
最寄り駅から電車
通勤をしている

最寄り駅までは
バス路線がないので
妻に車で送つてもらつ
ことが多い

近所の人で自転車に
乗っていて車と接触する人が
何人も出ているので
利用しないようにしている

当初は自転車を利用して
いたが、駅までの道は
道幅が狭く交通量も多い



通勤時間帯は
駅周辺はいつも
渋滞している

渋滞を避けるために
通勤時間帯を早く
しているが、
そろそろ限界だ



妻は娘の小学校にも
送り迎えしているため
朝の機嫌はすこぶる悪く

いつもイライラ
している



近所の佐々木さん
彼も奥さんに駅まで
車で送つてもらっている



この地域では子どもの数が減少して、小学校の統廃合が進み

最寄の小学校まで歩いて一時間かかる



いつも車なのでうちの子どもはバスに乗ったことがない

車で送迎する家庭が多いようだ



治安に不安があります



私自身、何年もバスに乗っていない



バスの位置もバスの乗り方も全然知らないだろう



3

仕事帰りに最寄り駅で時計を見ると
22時だった

駅に着くと案の定、タクシー待ちは長蛇の列

仕方がないので重い足を引きずつて一時間かけて家まで歩いた

21時までに着けば
妻が迎えに来てくれるが
それ以降は機嫌が悪くなるので
ほとんど来てもらえない



こんな生活がいつまでも
続くかと思うと
ゾッとする



これでは、
何のために引っ越したか
分からぬ

